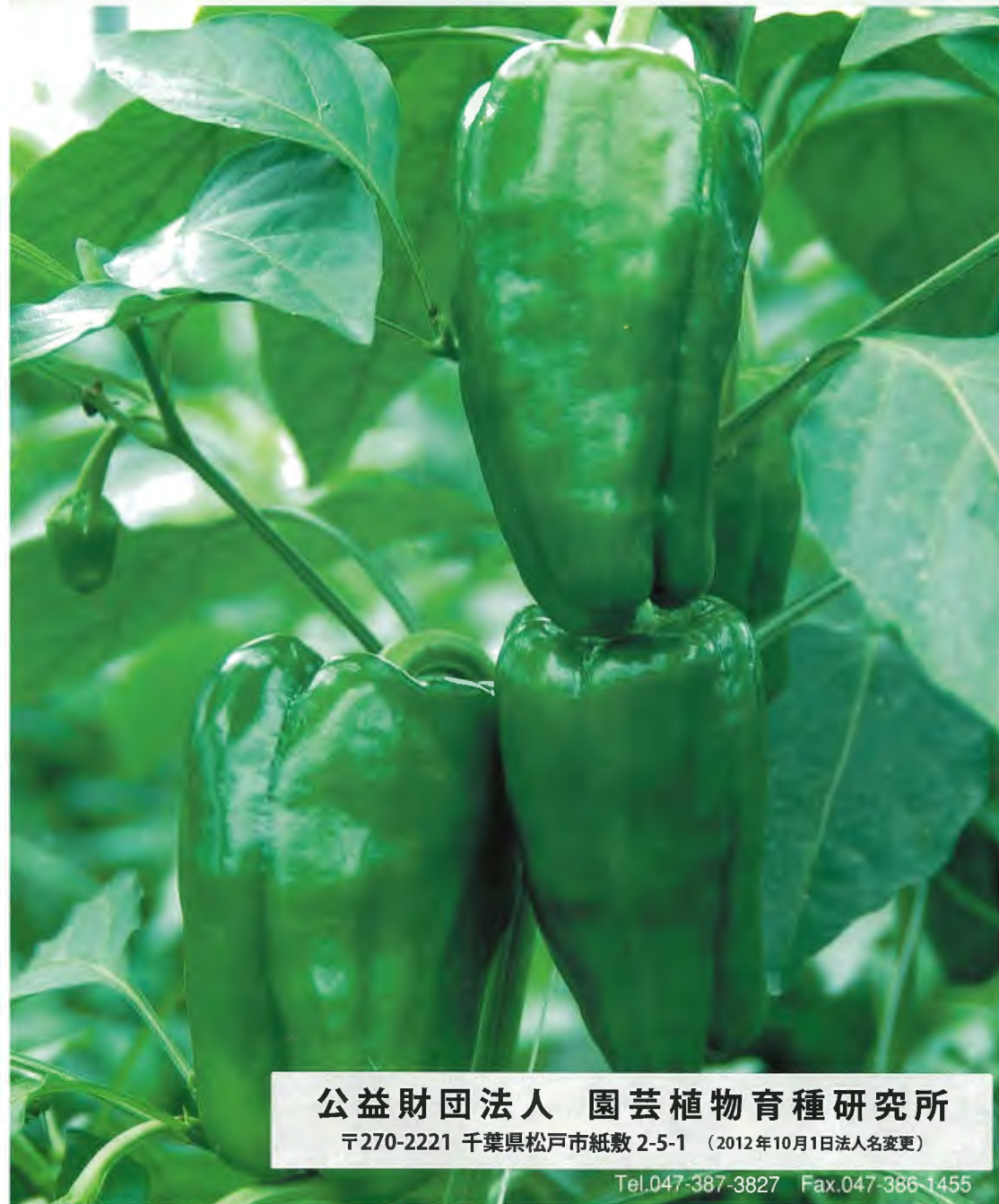


PMMoV(P<sub>1.2.3</sub>) 抵抗性

# ピーマン L4 みおぎ



公益財団法人 園芸植物育種研究所

〒270-2221 千葉県松戸市紙敷 2-5-1 (2012年10月1日法人名変更)

Tel.047-387-3827 Fax.047-386-1455

PMMoV (P<sub>1.2.3</sub>) 抵抗性

# ピーマン L4 みおぎ

## 品種特性

- トウガラシマイルドモットルウイルスPMMoV (P<sub>1.2.3</sub>)に対して抵抗性(L<sup>4</sup>)があります。
- 青枯病に対して「みおぎ」程度の抵抗性があります。  
しかし、他のウイルスや病気に対しては、抵抗性はありません。
- 「みおぎ」よりも収穫までに時間がかかり1割くらい減収となります。
- 1果重は30~40gで、「みおぎ」に比べ、緑がやや濃く短めの果実で良く揃います。

## 栽培の要点

- より収量を安定させるためには、草勢の維持がポイントです。  
若苗定植して1~3分枝の花を摘む。  
V字に仕立て素直に主枝を伸ばし、側枝の整枝により草勢を保つ。

## 「L4みおぎ」導入上の注意点

- 導入に当たっては、指導機関と相談してください。  
「みおぎ」や他のL<sup>3</sup>品種にウイルスの疑いがあれば、その株を検査してください。  
もし、PMMoV (P<sub>1.2.3</sub>)であれば、非常に強い感染力があり、収穫、整枝等で簡単に広がり、産地全体に大きな打撃となります。圃場を良く観察し、抜き取りを徹底してください。  
PMMoV (P<sub>1.2.3</sub>)に対して「L4みおぎ」は抵抗性がありますが、他のウイルスや病気であれば抵抗性はありません。
- えそ障害株が発生することがあります。  
不可欠用途専用ヒューム等でウイルス密度を下げてから栽培してください。
- PMMoV (P<sub>1.2.3</sub>)の発生したハウスでは、全面積で3作続けてL<sup>4</sup>品種を栽培することで、圃場が清浄になりL<sup>3</sup>品種栽培の可能性があります。  
土壌のウイルス検定を行って、清浄であればL<sup>3</sup>品種等を栽培することで、抵抗性遺伝子が長持ちし、産地の継続発展につながります。

現在のところ、L<sup>5</sup>、L<sup>6</sup>・・・といった次の抵抗性素材はありません。

産地の継続発展のためにL<sup>4</sup>品種を有効に使ってください。

公益財団法人 園芸植物育種研究所

〒270-2221 千葉県松戸市紙敷2-5-1

TEL. 047-387-3827 (代)

FAX. 047-386-1455